

# レジ袋収益金を寄付

## マエダ、2団体に40万円

む つ

むつ市の小売業「マエダ」（前田恵三社長）は23日、レジ袋の販売収益金20万円を、植樹などに取り組み同市のNPO法人「GEMBU（ゲンブ）」（関實代表）に寄付した。同社は2009年2月からレジ袋の有料化をスタート、マイバッグ持参率は前年（08年2月～09年1月）の30%前後から80%以上に向上したという。1年でレジ袋を大幅に削減できたことに加え、さらに環境活動へ貢献しようと、今回初めて、自然環境保全などの活動を続ける県内の2団体にレジ袋販売で得た収益を贈った。

（加藤景子）



むつ市のNPO法人「GEMBU」の関代表（左）に目録を手渡すマエダの森原専務

## 環境活動を支援

同社は県内に21店舗を展開し、マイバッグを持たない人に、レジ袋を小2円、大3円で販売している。有料化以降の1年間で販売したレジ袋は、無料だった前年の数分の一程度にまで減少したという。また、レジ袋を回収し再生するリサイクル活動も行っており、森原良三専務は「環境問題に対するお客さまの関心は高い。今後、真剣に環境活動に取り組みたい」と語った。

むつ商工会議所で森

原専務から目録を受け、動に役立てる。同社は25日、青森市のNPO法人「白神山を守る会」（永井雄人代表）にも20万円を寄付する。